

世界最古のダイヤモンドが生まれたインドは、宝石大国
世界を魅了する宝石の輝きは、インド経済の未来をも照らす

シャイニング・インド（マクロ関連） ～ダイヤモンド製品や宝飾品を米国や香港へ輸出～

▶ 宝石・宝飾品はインドの輸出品目で2位

インドの宝石の歴史は長く、特にダイヤモンドは紀元前から18世紀にブラジルで発見されるまでは唯一の採掘国であったと見られ（そのためダイヤモンドは「インド石」とも呼ばれていました）、現存する世界最古のダイヤモンド「コ・イ・ヌール*」は有名です。加えて、その長い歴史の中で培われた切削・研磨技術に強みがあります。スーラト（ダイヤモンド）やムンバイ（ダイヤモンド）、ジャイプール（エメラルド）などの都市が宝石産業の主要都市となっています。

インドの輸出品目では石油製品に次ぐ2位、世界の宝石・宝飾品の輸出額に対するシェアは4.7%（世界6位、2021年）と、主要輸出国となっています。

インドの輸出上位品目
（2021年度）

	品目	輸出額 (億米ドル)	対輸出総額 (シェア)
1	石油製品	696	16.5%
2	宝石・宝飾品	393	9.3%
3	機械・器具	254	6.0%
4	鉄・鋼鉄	229	5.4%
5	有機化学品	220	5.2%

※ベルシャ語で「光の山」を意味し、現在はロンドン塔で展示されています。このダイヤモンドを所有するものは、世界を征服するといわれています。

▶ ダイヤモンド製品や宝飾品を米国や香港へ輸出

輸出している宝石・宝飾品にはダイヤモンド製品に加えて、金、銀、プラチナ製品もあり、まさに、世界の人々を魅了する宝石・宝飾品が名を連ねています。

総輸出額トップのダイヤモンド製品の輸出先は、米国、香港、UAE（アラブ首長国連邦）など、世界の経済大国や産油収入で潤っている国などです。

インド政府も更に輸出を促進すべく、UAEとの間で自由貿易協定（FTA）を調印したり、原石輸入の関税を引き下げたりと、宝石産業の政策支援を行っています。

ダイヤモンド製品の輸出先上位
（2021年度）

	輸出先	輸出額 (億米ドル)	対輸出総額 (シェア)
1	米国	99	40.4%
2	香港	64	26.2%
3	UAE	21	8.4%
4	ベルギー	14	5.7%
5	イスラエル	14	5.6%
9	日本	3	1.2%

▶ 宝石類の貿易総額の回復はインド経済を潤す要素

インドの宝石類の貿易総額は米国やアジア向けを中心に再び増加してきています。各国でコロナ関連の制限が撤廃され、人々が商業施設に出向いて買い物をするなど、パンデミック前の消費行動に戻ったことなどが要因です。そして、インド経済はその恩恵を享受しています。今後も、UAEとのFTA締結ほか、インド政府の政策サポートも強力に進められることが期待され、インド経済の強靱さを高める源となることでしょう。

出所：各種資料を基にパインブリッジ・インベストメンツ作成



ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会